



# きらめく風

ホームページ

携帯サイト →



すすんで学ぶ子ども

心ゆたかな子ども

体をきたえる子ども

## 夢の実現

校長 清水 誠

大きな大会での勝利は、人生を大きく変えます。それは、スポーツ界もお笑いの世界も、そして音楽界でも同じです。10月下旬、ピアニストにとって世界最高峰の登竜門であるショパン国際ピアノコンクールにおいて、「反田（そりた）恭平氏が2位に入賞」というニュースが飛び込んできました。それを聞いた時、正直私にとっては、なぜわざわざコンクールに出たのかという疑問しかありませんでした。反田氏は、すでに世界的な指揮者と共演してCDを出すなど、十分な実力と人気をすでに手に入れています。逆に、コンクールに入賞しなかったら…というリスクの方が大きかったはずです。それにあえて挑戦したのは、「夢の実現」のためでした。

12歳の頃、テレビ番組でショパンコンクールのことを知り、反田少年は「いつか自分も出てみたい」という夢を抱きました。音楽家にとって、もっている才能をどう生かすかは、やはり自身の努力が不可欠です。様々な国に留学をしながら、音楽性とテクニックを磨き、実力を兼ね備えた後、いよいよショパンコンクールに照準を当てました。5年に一度開かれるこのコンクールに出場できるのは、30歳以下という規定があります。27歳の反田氏にとっては、最初で最後のチャンスとなりました。

反田氏は、何年も前からありとあらゆる対策でこの夢に向かってきました。まず、コンクールが開かれ、ショパンの故郷でもあるポーランドに留学することから始めています。そして、予備審査から3次予選までの関門突破のために、過去に課されたショパンの曲を全て調べあげ、傾向と対策を練りました。さらに、アジア人は似たように見られることから、髪を伸ばして後ろで結び、髭をたくわえるという特徴のある風貌にもしています。その他にも、音にならない部分でのこだわりの積み重ねがあり、快拳を手に入れました。

反田氏は、もうすでに次の夢に向けた活動を始めています。「指揮者になる」という夢、さらには「学校をつくりたい」という夢を宣言し、歩み始めました。ショパンコンクールの入賞で名声を得たことは、実はその先にある夢の実現のための第一歩に過ぎなかったのです。

2週間前の終業式で、全校に宿題を出しました。「冬休み中に、来年（あるいは3学期）の目標を決めてくること」という宿題でした。新年を迎え、3学期の学校生活が始まる今日、どのような目標をもって登校することができたでしょうか。そして、その目標を実現させるために、何をどのようにがんばっていくのでしょうか。小さな目標の積み重ねが、いつしか大きな夢の実現へと向かいます。

# ～子ども達の～

## 下田移動教室（11/24～25）

6年生は、1泊2日で下田移動教室に行ってきました。1日目は、城ヶ崎ピクニカルコースを歩きました。家庭で用意してもらったお弁当は、海を見ながら、気持ちよく食べることができました。また、ベルデ下田では、友達と協力しながらベッドの準備をしたり、食事や入浴をしたりしました。実行委員を中心にすすめた学年レクもとても盛り上がり、全員で踊ったキャンドルファイヤーのマイムマイムでは、みんなとてもいい顔をしていました。

2日目は、伊豆シャボテン動物公園で班行動をしました。餌やりをしたり、動物と写真を撮ったりしながら楽しく過ごせたようです。家族へのお土産は、迷いながらも楽しそうに選んでいました。子供たちは、友達と過ごす楽しさを存分に感じることができました。そして、自分のことは自分で行うということの大切さを感じ、これからの生活につなげていきたいと思えたようです。



## 音楽発表会（12/1, 3）



昨年度はコロナ禍のため中止せざるを得なかった音楽会ですが、今年度は音楽発表会として、1日(水)に1～3年生、3日(金)に4～6年生の保護者鑑賞日を設け、学年ごとの完全入れ替え制で実施しました。ここ2年近く様々な行事が中止になり発表の機会が失われてしまっていたこともあって、どの学年の児童も大変緊張したようです。それでも見事に演奏し終えた児童の頑張りには本当に感心してしまいます。



さらに、本番の前日にリハーサルを行い、下の学年が上の学年の演奏を聴く機会を設けました。これがとても刺激になったようで、「〇年生の演奏はとにかくすごかったです」「さすが〇年生」「とにかく尊敬する」「自分もこんな〇年生になれるだろうか」「来年は頑張りたい」と憧れや尊敬の気持ちを抱いたようです。改めて、このような機会の大切さを実感することができました。ご家庭でのお子様への励ましにも大変感謝しております。

## 3年 社会科見学（12/9）

感染症予防対策のガイドラインに沿って、「JA東京あおば」「石神井公園ふるさと文化館」「練馬区役所」に行きました。子供たちは、社会科「練馬区のように」「農家の仕事」「安全な暮らしを守る」「練馬区のおつりかわり」について、教科書から学べないことを学習することができました。

「JA東京あおば」では、教科書に載っている「キャベツの碑」を見た後、練馬区の農業について考えました。「石神井公園ふるさと文化館」では、昔の道具の実演や現物を見て、今の生活と比べることができました。特に古民家見学では、自然をうまく利用した造りになっていることを知り、人と自然の共存について考えました。「練馬区役所」やバスガイドさんの説明から、練馬区をもっと深く知ることができ驚いていました。

帰校後、感謝の手紙を書いたり、学んだことを新聞にまとめたりしました。社会科見学の重要性を改めて感じると同時に、行えたことに感謝します。



# 学校生活



## セーフティ教室 (12/15)

今年度も、全学年を対象にセーフティ教室を行いました。低学年は連れ去り防止、中学年は万引き防止、高学年は情報モラルについて、外部講師をお招きして学習をしました。また、中休みには、保護者の方々と光が丘警察署・スクールサポーターとが一緒に集まり、意見交換会も行われました。

低・中学年では、ロールプレイや実際にあった事例が挙げられ、緊張感をもって学習をしていました。高学年では、専門的な立場から話される内容が、子供たちにとってとても興味深いものになっていました。冬休みの過ごし方の指導に結び付けるとともに、日頃の安全指導にも生かしていきます。



## しょう油もの知り教室 (12/16)



3年生は、キックマンの方をお呼びした出前授業を行いました。家庭科室から既にしょう油の香りが漂い、子供たちはこれから始まる出前授業を楽しみにしていました。しょう油博士の話を真剣に聞き、たくさんのことを学びました。しょう油の主な原料が大豆・小麦・食塩であることや、商品になるまでには半年以上の時間がかかることを知って驚いていました。また、もらった名刺からうっすらとしょう油の匂いがしたことに気づき、しょう油の絞りかすがリサイクルされていることも知りました。実際に「もろみ」「生しょう油」「商品としてのしょう油」の味比べを行いました。子供たちからは「生しょう油が一番おいしい」、「家でもしょう油を作りたい。」などと感想が聞かれました。国語科「すがたをかえる大豆」で学習したことを生かして、大豆が別のものになる様子を実感することができました。

## 4年 社会科見学 (12/17)

4年生は、江東区有明にある「水の科学館」と「東京臨海広域防災公園」へ社会科見学に行きました。当日の朝は雨でしたが、行きのバスの中ではすっかり雨がやみ、予定通りに見学することができました。

水の科学館では、4年生で学習した上下水道のことや水害のこと、水の流れ方など、水に関する様々な学習をすることができました。施設内には水を使った実験をする場所もあり、巨大シャボン玉や水の竜巻などを見ることができました。

東京臨海広域防災公園は、国営の施設であり、映画「シンゴジラ」にも使われた場所です。今回は「そなエリア東京」の施設内で、72時間どう生き残るかの防災訓練をしました。実際に首都直下地震が起こった場合の光景を見て、子供たちは日ごろから防災の意識をもって過ごすことが大切であると感じました。充実した1日を過ごすことができました。



# < 1月の行事予定 >

1月の安全指導内容「身の回りの危険について考えよう」



日	曜	相	行 事
1	土		元日 機械警備
2	日		機械警備
3	月		機械警備
4	火		閉庁日
5	水		
6	木		
7	金		冬季休業日終
8	土		始業式 普通時程 学校公開(1~3校時公開) 委員会活動(4校時) 4年(代表委員)・5・6年
9	日		
10	月		成人の日
11	火	◆	読 給食始 安全指導 挨拶運動① 書き初め週間(～14日) なわとび旬間(～21日)
12	水		学 挨拶運動② クラブ活動(4・5年見学)
13	木	◇	体 挨拶運動③
14	金		特別時程 登校指導 給食費・教材費引き落とし
15	土		
16	日		
17	月	◆	全 1・2年計測 4年染物職人出前授業
18	火	◆	読 3・4年計測 たてわり班遊び(中休み)
19	水		学 5・6年計測
20	木	◇	特別時程 4時間授業 校内研究
21	金		読 5年方言の授業出前授業
22	土		
23	日		
24	月	◆	全 校内書き初め展(～2/5)
25	火	◆	読 特別時程 5年展覧会場準備
26	水		学 特別時程 6年ことわざの授業出前授業
27	木	◇	音
28	金		読
29	土		
30	日		
31	月	◆	全

## 《校内書き初め展》

年が明け、書き初めの時期となりました。書き初めには、「一年間の抱負や目標を定める」ことの他にも「字の上達を祈願する」という意味もあるそうです。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、新年の新鮮な気持ちで思いを込めて白い紙に向かいます。

- 期間：1/24(月)～2/5(土)
  - 展示場所：各教室の廊下
- 保護者の方につきましては、以下の時間で鑑賞することができます。
- ・平日：15:30～16:30
  - ・2/5(土)：13:00～16:00

子供たちの力作をぜひご覧ください。



## 《なわとび旬間》

なわとび旬間では、なわとびを通じた体力向上を目標に、様々な技に挑戦します。なわとびの技は、500種類とも、1000種類とも言われています。組み合わせしだいで無限につくることができるからだそうです。学校では、約20種類の技に取り組みます。子供たちは、休み時間や体育の学習の時間で練習をしたり、検定を受けたりします。たくさんの子供たちが、楽しんで体を動かせるよう、一緒になって運動していきます。

## 1月の生活目標

〈れいぎ正しくしよう〉

礼儀正しくするとは、自分と接している相手を大切にすることです。

あいさつや返事などの言葉遣いはもちろん、服装や態度などがきちんと整っているとどんな気持ちになるか子供たちに考えさせ、新しい1年を清々しくスタートさせたいと思います。

今年も、保護者、学校、地域の方々とともに、「礼儀を大切にできる旭町小の子」を育てていきたいと思っています。

※1月の避難訓練は、予定を知らせずに実施します。

全 全校朝会 音 音楽朝会 児 児童集会 体 体育朝会 学 朝学習 読 朝読書  
◆:心のふれあい相談員(秋葉先生) ◇:スクールカウンセラー(山邊先生)  
\*行事予定は変更になる場合があります。学年だより等でご確認ください。

### お知らせ

昨年同様に、練馬区の連合書き初め展及び連合図工展は中止になりました。各学年から選出された児童を校内で表彰する予定です。

